

## 令和5年度第1回南西部地域医療構想調整会議（令和5年7月31日(月)）

### ○ 議題

- (1) 令和5年度地域医療構想調整会議の開催スケジュールについて
- (2) 医療機関対応方針の協議・検証について
- (3) 病院整備計画の公募、病床整備の進捗状況について
- (4) 紹介受診重点医療機関に係る協議について
- (5) 医師の働き方改革に係る特例水準について
- (6) 令和3年度病床機能報告定量基準分析結果について
- (7) 感染症予防計画について

### ○ 資料

#### 議題（1）関係

- ・資料 1-1 令和5年度地域医療構想調整会議について
- ・資料 1-2 令和5年度第1回埼玉県地域医療構想推進会議の主な意見

#### 議題（2）関係

- ・資料 2-1 医療機関対応方針の協議・検証
- ・資料 2-2 医療機関対応方針一覧【南西部医療圏】病院
- ・資料 2-3 医療機関対応方針一覧【南西部医療圏】有床診療所
- ・資料 2-4 国立病院機構埼玉病院 公的医療機関等 2025 プラン（2022年度版）
- ・参考資料 1 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて

#### 議題（3）関係

- ・資料 3-1 病院整備計画の公募について
- ・資料 3-2 埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について(令和5年3月末時点)
- ・資料 3-3 埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書（ふじみの救急病院）
- ・資料 3-4 埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書（埼玉セントラル病院）
- ・資料 3-5 病院の整備計画変更申請書（塩味病院）
- ・資料 3-6 令和5年度病床機能転換促進事業費補助金 申請一覧
- ・資料 3-7 令和5年度病床機能転換事業計画報告書（塩味病院）
- ・資料 3-8 病床機能転換 病床機能報告調書（塩味病院）

#### 議題（4）関係

- ・資料 4-1 令和4年度外来機能報告結果
- ・資料 4-2 紹介受診重点医療機関に係る協議について
- ・参考資料 2-1 紹介受診重点医療機関について
- ・参考資料 2-2 リーフレット

#### 議題（5）関係

- ・資料 5 令和5年度地域医療構想調整会議における検討予定事項 医師の働き方改革への対応について

#### 議題（6）関係

- ・資料 6-1 令和3年度病床機能報告の定量基準分析結果について
- ・資料 6-2 令和3年度病床機能報告（各医療機関からの報告内容と定量基準分析結果）【南西部】
- ・資料 6-3 令和3年度病床機能報告・定量基準分析結果（2025年必要病床数との比較等）
- ・参考資料 3 医療機能別病床数の年度別推移について

#### 議題（7）関係

- ・資料 7 改正感染症法への対応

# 令和5年度地域医療構想調整会議について

資料1-1

開催時期		医療機関対応方針の協議	病院整備計画の公募	病床機能報告	外来機能報告	医師の働き方改革	その他
7月	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立病院経営強化プラン</li> <li>・公的医療機関等2025プラン</li> <li>・2025年における医療機関対応方針調査票</li> </ul>		R3年度定量基準分析結果	紹介受診重点医療機関に係る協議	特例水準対象医療機関指定の協議 ・B水準(救急医療等) ・連携B水準(医師を派遣する病院) ・C-1水準(臨床・専門研修) ・C-2水準(高度技能の修得研修)	
8月							
9月							
10月			病院整備計画の受付		紹介受診重点医療機関の公表		
11月	第2回	説明意見交換検証 ↓ 見直し ↓ 再検証 ↓ 合意	病院整備計画に係る協議	R4年度病床機能報告結果	R4年度外来機能報告結果		
12月							
1月							
2月	第3回		「埼玉県医療審議会」へ諮問後、採用する計画を決定			「埼玉県医療審議会」へ諮問後、特例水準の指定	圏域別フェイスシートの更新
3月							

## 令和5年度 地域医療構想アドバイザー

推薦団体	氏名(敬称略)	役職	職種
埼玉県医師会	廣澤 信作	埼玉県医師会 副会長	医師
埼玉県医師会	齊藤 正身	川越市医師会 会長	医師
埼玉医科大学	小野寺 亘	埼玉医科大学 医学部 特任教授(医療政策学)	教員

## 令和5年度第1回埼玉県地域医療構想推進会議(令和5年7月5日) 主な意見

## 地域医療構想推進会議での議論について

○ 推進会議における議論の内容は、各圏域の調整会議の委員にしっかりと報告してもらいたい。推進会議における議論が各圏域の調整会議と十分に共有されておらず、調整会議の現場での議論が乖離しているように感じている。各圏域での議論に活かしてもらいたい。

## 対応方針の協議・検証

○ 対応方針はこれまで公立公的が中心で、民間医療機関は今回初めてとなる。民間の対応方針は調査票への回答によりまとめられたということだが、本当にこれは慢性期なのか、急性期となっているかあるいは回復期なのではないか、必ずしも4機能のあり方をしっかりと踏まえたうえで回答されていないのではないかという気もする。その辺も含めて民間医療機関には、設問の趣旨も含め、わかりやすい聞き方をして欲しい。

○ 民間医療機関の「医療機関の役割、機能」の設問だが、医療機関に尋ねる際は、診療報酬の入院基本料や特定入院料の何を算定している場合にばここに○という聞き方をすると回答しやすい。

## 病院整備計画の公募

○ 令和4年度の公募で残りがあった圏域では令和5年度に再公募ということだが、この病床数を配りきる必要が本当にあるのか。大きな圏域では、既に病床は足りているとみられる地域と、まだ不足かもしれない地域とがある。どうしても配るのであれば地域を限定してもよいのではないか。

○ 地域医療構想は、高度急性期・急性期医療を行う医療機関はできるだけ統合しようという意図があったと思うが、既存病院の増床ではなく、新病院の開設による病床整備は構想の本来の趣旨から外れるのではないか。

○ 承認された病院整備計画で未開設になっている理由は、医療人材、特に看護師の不足が大きい。そういう状況で再公募が行われ、圏域外から来た開設者が新しい医療機関がオープンさせる場合、既存の医療機関は自院の人材が引き抜かれるのではないかという不安を感じている。新たに開設する側は引き抜きはしないと言うだろうが、働いている者は古い病院よりは新しい病院に行きたがる。

○ 募集する医療機能の(2)「埼玉県地域保健医療計画の実現に向けて必要な病床」のうち、「がん・脳卒中・心血管疾患に対応する高度専門医療」は圏域によっては足りているのではないか。各圏域によって違いがあるだろうから、その議論が必要なのではないか。



### 医師の働き方改革への対応

○ 各医療機関が宿直許可がなかなか取れなくて四苦八苦している。二次医療圏の小児救急輪番の空白に医師派遣している病院が、宿直許可が取れず派遣できない状況が生じていたりする。まだ相当苦勞している病院があるので、行政の方からも支援をお願いしたい。

### 病床機能報告について

○ 埼玉県では、4機能を区別するために、埼玉方式を策定した。それによると、埼玉県の現在の病床機能毎の病床数は、比較的、目指すべき数値に近い数字になっているのではないかと。もし、そうであるなら、各病院に病床機能報告の機能ごとの病床数の変更を促さずに、埼玉方式による数値を厚生労働省に提出すれば、それで済む話ではないのか。  
⇒(県)厚労省によれば、病床機能報告の結果について地域医療構想調整会議で活用する際は、同報告の集計結果と将来の病床の必要量とを単純に比較するのではなく、詳細な分析や検討を行った上で協議を行うとしていることから、埼玉方式も併せて活用し、丁寧な議論をいただき、病院の自主的判断によりご報告いただきたいと考えている。

### 調整会議での協議の進め方

○ 大きな圏域では調整会議委員の人数が多くなり、意見が出にくくなる。二次医療圏を変えるのは難しいだろうから、圏域内を細分化して地区分科会を作り、そこを協議の場とするのは良い取組だと思う。

### 地域医療構想全般

○ 先日の日本医師会病院委員会では、地域医療構想調整会議はベッド数をどうするかだけを話し合う場ではなかったはず、連携をどうするかとか、老健や在宅といったところまで含めてどういう風に医療を提供していくのかを話し合う場であり、各都道府県ごとにグランドデザインがあってもいいのではないかと話が出ていた。

○ そこでは北海道の事例が紹介されたが、自圏域で高度急性期や急性期医療の提供を完全に行うことは困難であることから近隣圏域に頼り、自圏域では急性期治療を終えた自圏域の住民を受け入れるポストアキュートをしっかりやっというものだった。埼玉県では秩父圏域がこれに近いのかもしれない。

○ 隣接圏域と役割分担し連携をしっかりとることで、今のベッド数でも変わっていくことができる。隣接圏域も意識して考えていく必要がある。

# 医療機関対応方針の協議・検証

資料2-1

## 地域医療構想調整会議における検討状況（埼玉県）

（令和5年3月末現在）

### 1. 全体（2及び3の合計）

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	51,551 床	110 床	0.2%	26,954 床	52.3%	24,487 床	47.5%
医療機関数ベース	480 機関	1 機関	0.2%	164 機関	34.2%	315 機関	65.6%

### 2. 公立・公的医療機関等（平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。）

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済		協議・検証中		協議・検証未開始	
病床数ベース	16,941 床	110 床	0.6%	13,002 床	76.7%	3,829 床	22.6%
医療機関数ベース	39 機関	1 機関	2.6%	27 機関	69.2%	11 機関	28.2%

### 3. 2以外の医療機関（平成29年度病床機能報告未報告等医療機関を含む。）

	総計	対応方針の策定状況					
		合意済		協議中		協議未開始	
病床数ベース	34,610 床	0 床	0.0%	13,952 床	40.3%	20,658 床	59.7%
医療機関数ベース	441 機関	0 機関	0.0%	137 機関	31.1%	304 機関	68.9%

# 医療機関対応方針一覧

資料2-2

## 【南西部医療圏】病院

医療機関	①医療機能ごとの病床数									備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割												
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計	(1)貴医療機関の役割、機能														
											高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考		
名称 医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	R4.7.1	110	316		20				446	第7次公募(R4):8床増床	R4.7.1		○					○	○				
開設者 医療法人社団武蔵野会	2025年予定	110	324		20				454		2025年予定		○						○	○			
所在地 朝霞市溝沼1340-1	変更増減	0	8	0	0	0	0	0	8														
名称 朝霞厚生病院	R4.7.1		38		47				85		R4.7.1		○				○						
開設者 一般財団法人関東厚生福祉会	2025年予定		38		47				85		2025年予定		○				○						
所在地 朝霞市浜崎703	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 医療法人山柳会塩味病院	R4.7.1		44	33	0				77	第7次公募(R4):23床増床 ・転換予定(急性期→回復期) (R5.12:9床)(R7.3:5床)	R4.7.1											回答 依頼中	
開設者 医療法人山柳会	2025年予定		30	70	0				100		2025年予定												
所在地 朝霞市溝沼2-4-1	変更増減	0	▲14	37	0	0	0	0	23														
名称 医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	R4.7.1		60	40					100	当院は回復期リハビリテーション病棟 40床、透析ベッド 13床、ドック健診センターを有しております。人工透析を導入されている患者様もリハビリテーションが受けられます。	R4.7.1		○	○	○	○		○	○				回答 依頼中
開設者 医療法人社団武蔵野会	2025年予定		60	40					100		2025年予定		○	○	○	○		○	○				
所在地 志木市上宗岡5-14-50	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		小児医療は外来のみ提供												
名称 医療法人社団浅野病院	R4.7.1				98				98	療養病床98床	R4.7.1						○						
開設者 医療法人社団浅野病院	2025年予定				98				98		2025年予定						○						
所在地 志木市本町6-24-21	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 坪田和光病院	R4.7.1		51						51		R4.7.1											回答 依頼中	
開設者 医療法人社団坪田会	2025年予定		51						51		2025年予定												
所在地 和光市白子2-12-15	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 独立行政法人国立病院機構埼玉病院	R4.7.1	66	480						546	救命救急センター、災害拠点病院、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院【公的医療機関等2025プラン】策定(感染症4床)	R4.7.1												
開設者 独立行政法人国立病院機構	2025年予定	66	480						546		2025年予定												
所在地 和光市諏訪2-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 医療法人寿鶴会普野病院	R4.7.1			28	92				120	療養病床92床(精神280床) 当院は一般科と精神科を標榜する医療機関であるが、5疾病、5事業における認知症患者は一般病床・療養病床では徘徊などがあることから入院ができず、主に精神科病棟に於いて受け入れており、内科的治療が必要な合併症患者が大半を占める。	R4.7.1			○	○		○						
開設者 医療法人寿鶴会	2025年予定			28	92				120		2025年予定			○	○		○						
所在地 和光市本町28-3	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	R4.7.1			60					60	療養病床60→79床 ・第7次公募(R1):36床増床(うち17床開設済)	R4.7.1											回答 依頼中	
開設者 医療法人泰一会	2025年予定			79					79		2025年予定												
所在地 和光市中央2-6-75	変更増減	0	0	19	0	0	0	0	19														
名称 堀ノ内病院	R4.7.1		161	38					199		R4.7.1		○	○	○			○					
開設者 社会医療法人社団堀ノ内病院	2025年予定		161	38					199		2025年予定		○	○	○			○					
所在地 新座市堀ノ内2-9-31	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 北野病院	R4.7.1				148				148	療養病床148床	R4.7.1											回答 依頼中	
開設者 医療法人昭仁会	2025年予定				148				148		2025年予定												
所在地 新座市北野2-14-8	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 医療法人社団武蔵野会新座病院	R4.7.1			128					128	療養病床96床	R4.7.1			○	○	○		○					
開設者 医療法人社団武蔵野会	2025年予定			128					128		2025年予定			○	○	○		○					
所在地 新座市堀ノ内3-14-30	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														
名称 静風荘病院	R4.7.1				124				124		R4.7.1					○	○	○					
開設者 一般財団法人野中東皓会	2025年予定				124				124		2025年予定					○	○	○					
所在地 新座市堀ノ内1-9-28	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0														

【南西部医療圏】病院

医療機関		①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割												
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		(1)真医療機関の役割、機能												
										高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考			
名称	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	R4.7.1	8	248	86	34	26			402	非稼働病床は、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入を行うための休床。この地域としては、ベッドがなく救急を断っている現状があり、当院としては、後方ベッドへのスムーズな転院が可能な体制があれば現在の慢性期病床を急性期としての運用を検討していきたい。	R4.7.1	○	○	○	○	○						
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定	12	270	86	34	0			402		2025年予定	○	○	○	○	○						
所在地	新座市東北1-7-2	変更増減	4	22	0	0	▲26	0	0	0		当院は高度急性期(HCU)を含めた急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟があり、幅広い病期の症状に対応できる機能を有している。急性期の脳卒中、心血管疾患治療をはじめとした救急医療体制も整備されている。また、近隣には様々な機能を有するTMG(戸田中央メディカルケアグループ)の医療機関があり連携を密にしている。地域における中核病院として急性期から慢性期まで切れ目のない医療の提供を目指す。											
名称	医療法人向英会高田整形外科病院	R4.7.1		40						40		R4.7.1											
開設者	医療法人向英会	2025年予定		40						40		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	新座市野火止6-5-20	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	医療法人さくら さくら記念病院	R4.7.1		136						136		R4.7.1		○	○	○		○					
開設者	医療法人さくら	2025年予定		136						136		2025年予定		○	○	○		○					
所在地	富士見市水谷東1-28-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	医療法人恵愛会恵愛病院	R4.7.1		60						60		R4.7.1											
開設者	医療法人恵愛会	2025年予定		60						60		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	富士見市針ヶ谷526-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	みずほ台病院	R4.7.1		60						60		R4.7.1											
開設者	医療法人橋会	2025年予定		60						60		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	富士見市西みずほ台2-9-5	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	R4.7.1	58	243	40					341	病床転換理由 ・産科棟を増築し、分娩を開始するため ・脳血管内治療を開始するため	R4.7.1		○			○		○	○			
開設者	医療法人財団明理会	2025年予定	58	249	34					341		2025年予定	○	○			○		○	○		○	
所在地	富士見市鶴馬1967-1	変更増減	0	6	▲6	0	0	0	0	0		周産期医療を提供する機能											
名称	医療法人社団サンセリテ三浦病院	R4.7.1				54	5			59		R4.7.1						○		○			
開設者	医療法人社団サンセリテ	2025年予定				59	0			59		2025年予定						○		○			
所在地	富士見市下南畑3166	変更増減	0	0	0	5	▲5	0	0	0													
名称	医療法人誠壽会上福岡総合病院	R4.7.1		239		45				284	療養病床45床	R4.7.1		○	○	○	○	○	○		○		
開設者	医療法人誠壽会	2025年予定		239		45				284		2025年予定		○	○	○	○	○	○		○		
所在地	ふじみ野市福岡931	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	医療法人社団草芳会三芳野第2病院	R4.7.1		45						45		R4.7.1											
開設者	医療法人社団草芳会	2025年予定		45						45		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	ふじみ野市大原2-1-16	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称	富家病院	R4.7.1			59	202				261	療養病床142床 ・第7次公募(R4):20床増床	R4.7.1			○	○	○	○	○		○		
開設者	医療法人社団富家会	2025年予定			79	202				281		2025年予定			○	○	○	○	○		○		
所在地	ふじみ野市亀久保2197	変更増減	0	0	20	0	0	0	0	20		維持透析を提供する機能 ・重度慢性期医療を担う医療機関として、主に人工呼吸器、血液透析、気管切開等の患者受入れをしている。また、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟も擁し、退院支援として地域の医療・介護チームへのスムーズな移行にも力を入れている。											
名称	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	R4.7.1			48	202				250	療養病床202床 (精神200床) ・第7次公募(R4):13床増床	R4.7.1					○	○	○				
開設者	医療法人財団明理会	2025年予定			49	214				263		2025年予定					○	○	○				
所在地	入間郡三芳町上富2177-2	変更増減	0	0	1	12	0	0	0	13													
名称	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	R4.7.1	18	209		46				273		R4.7.1											
開設者	医療法人社団明芳会	2025年予定	10	217		46				273		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	入間郡三芳町藤久保974-3	変更増減	▲8	8	0	0	0	0	0	0													
名称	医療法人社団草芳会三芳野病院	R4.7.1		109						109		R4.7.1											
開設者	医療法人社団草芳会	2025年予定		109						109		2025年予定										回答 依頼中	
所在地	入間郡三芳町北永井890-6	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		透析医療											

【南西部医療圏】病院

医療機関		①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割											
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		(1)真医療機関の役割、機能										備考	
名称	ふじみの救急病院	R4.7.1		19						19	高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他		備考
開設者	入間郡三芳町北永井997-5	2025年予定		20						20												回答 依頼中
所在地	医療法人社団晃悠会	変更増減	0	1	0	0	0	0	0	1												
<b>医療圏 病院 合計</b>		R4.7.1	260	2,558	560	1,112	31			4,521												
		2025年予定	256	2,589	631	1,129	0	0	0	4,605												
		変更増減	▲ 4	31	71	17	▲ 31	0	0	84												

第7次公募(R4):1床増床

- \*1:肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む)
- \*2:急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む)
- \*3:リハビリテーション医療等を提供する機能
- \*4:長期療養を支える機能
- \*5:訪問診療・訪問看護





【南西部医療圏】病院

医療機関		②構想区域において担うべき医療機関としての役割											③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																	
		(2)貴医療機関が担う医療											(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)					(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)												
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症 その他	備考	院内の 他病棟 からの 転棟	家庭 からの 入院	他の 病院、 診療所 からの 転院	介護施設・ 福祉施設 からの 入院	介護 医療院 からの 入院	院内 の出生	その他	院内の 他病棟へ 転棟	家庭へ 退院	他の 病院、 診療所 へ転院	介護老人 保健施設 に入所	介護老人 福祉施設 に入所	介護 医療院 に入所	社会福祉 施設・有料 老人ホーム 等 に入所	終了 (死亡 退院等)	その他	
名称	ふじみの救急病院	R4.7.1											回答 依頼中	0	0	0	0	0	0	944	0	0	0	0	0	0	0	0	938	
開設者	入間郡三芳町北永井997-5	2025年予定																												
所在地	医療法人社団晃悠会																													
医療圏 病院 合計																														



**【南西部医療圏】病院**

【参考】各医療機関が有する課題として回答があったもの(複数回答可)	
回答医療機関数:15	回答数
医師確保	9
看護師確保	12
その他医療職(リハビリ職、薬剤師等)確保	11
病床稼働率の低下	6
退院・転院先の確保	6
看護必要度に係る要件(入院基本料)の維持	4
建物の老朽化改修	7
建物の耐震化改修	1
建物の災害対策(自家発電・受水槽等)	5
その他	1
<p>&lt;その他&gt;            人材確保は現時点では出来ているが、それに伴うコスト(紹介会社への紹介料)の負担が大変大きい。            今後建て替えを検討する必要があるが、用地確保が難しい。            中長期的な病床機能の見直し等に対応する人材確保が課題。建物の構造上、動線が悪く効率的な医療の提供が一部困難。            ・災害時の水と電気の確保(井水設備、自家発電用燃料タンクの整備を計画)</p>	

# 医療機関対応方針一覧

資料2-3

【南西部医療圏】有床診療所

医療機関	①医療機能ごとの病床数									備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割											
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計	(1)貴医療機関の役割、機能													
											高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考	
名称 阿部レディースクリニック	R4.7.1		8						8		R4.7.1		○									
開設者 医療法人阿部産婦人科医院	2025年予定		8						8		2025年予定		○									
所在地 朝霞市根岸台6-3-13	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 あさか産婦人科	R4.7.1		19						19		R4.7.1											回答 依頼中
開設者 医療法人社団昌静会	2025年予定		19						19		2025年予定											
所在地 朝霞市溝沼537-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科	R4.7.1		3						3		R4.7.1		○									
開設者 医療法人社団睦和会	2025年予定		3						3		2025年予定		○									
所在地 埼玉県朝霞市東弁財1-5-18 カロータ2F	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 医療法人社団宏友会 栗原整形外科	R4.7.1		2						2		R4.7.1		○	○		○						
開設者 医療法人社団宏友会	2025年予定		2						2		2025年予定		○	○		○						
所在地 朝霞市幸町1-1-5	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 志木呼吸器科クリニック	R4.7.1		4						4		R4.7.1											回答 依頼中
開設者 医療法人社団博翔会	2025年予定		4						4		2025年予定											
所在地 志木市本町5-18-13 神山ビル1階	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 牧田産婦人科医院	R4.7.1		5						5		R4.7.1											○
開設者	2025年予定		5						5		2025年予定											○
所在地 新座市あたご3-3-17	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		当院で対応可能な分娩施設の提供											
名称 大塚産婦人科小児科医院	R4.7.1		19						19		R4.7.1		○									
開設者 医療法人慶桜会	2025年予定		19						19		2025年予定		○									
所在地 新座市片山1-16-3	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		人工腎臓											
名称 栗原医院	R4.7.1		19						19		R4.7.1											回答 依頼中
開設者 医療法人実幸会	2025年予定		19						19		2025年予定											
所在地 富士見市羽沢1-33-28	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 医療法人根本外科整形外科	R4.7.1		18						18		R4.7.1		○									
開設者 医療法人根本外科整形外科	2025年予定		18						18		2025年予定		○									
所在地 富士見市鶴馬3477-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													
名称 にしじまクリニック	R4.7.1		18						18		R4.7.1		○									○
開設者 医療法人翔光会	2025年予定		18						18		2025年予定		○									○
所在地 富士見市勝瀬1034-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		分娩施設											
名称 ますなが医院	R4.7.1		19						19		R4.7.1											回答 依頼中
開設者 医療法人社団かいしん会	2025年予定		1						18		2025年予定											
所在地 富士見市勝瀬739-1	変更増減	0	▲18	0	0	0	0	0	(18)		▲18											
名称 みずほ台産婦人科	R4.7.1								0		R4.7.1											回答 依頼中
開設者	2025年予定								0		2025年予定											
所在地 富士見市東みずほ台3-6-6	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0		病床機能報告 未報告											
名称 ミューズレディースクリニック	R4.7.1		1						1		R4.7.1											回答 依頼中
開設者 医療法人青山会	2025年予定		1						1		2025年予定											
所在地 ふじみ野市霞ヶ丘1-2-3 ココネ上福岡一番館A202	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	0													

【南西部医療圏】有床診療所

医療機関		①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割										
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		(1)貴医療機関の役割、機能										備考
名称										高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他		
せきや眼科	R4.7.1		12						12												
開設者	医療法人久治会	2025年予定	12						12												
所在地	ふじみ野市旭1-18-25	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
医療圏 有床診療所 合計		R4.7.1	0	147	0	0	0		147	*1:肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む) *2:急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む) *3:リハビリテーション医療等を提供する機能 *4:長期療養を支える機能 *5:訪問診療・訪問看護											
		2025年予定	0	129	0	0	0	0	18												129
		変更増減	0	▲18	0	0	0	0	(18)												▲18

回答  
依頼中

【南西部医療圏】有床診療所

医療機関	②構想区域において担うべき医療機関としての役割													③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																					
	(2)貴医療機関が担う医療													(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)					(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)																
	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症その他	備考	家庭からの入院	他の病院、診療所からの転院	介護施設・福祉施設からの入院	介護医療院からの入院	院内の出生	その他	家庭へ退院	他の病院、診療所へ転院	介護老人保健施設に入所	介護老人福祉施設に入所	介護医療院に入所	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	終了(死亡退院等)	その他									
名称	阿部レディースクリニック	R4.7.1						○											180	0	0	0	102	0	173	2	0	0	0	0	0	0			
開設者	医療法人阿部産婦人科医院	2025年予定						○																											
所在地	朝霞市根岸台6-3-13	内科, 産婦人科, 産科, 婦人科																																	
名称	あさか産婦人科	R4.7.1																																	
開設者	医療法人社団昌静会	2025年予定																																	
所在地	朝霞市溝沼537-1	産婦人科																																	
名称	朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科	R4.7.1	○																																
開設者	医療法人社団睦和会	2025年予定	○																																
所在地	埼玉県朝霞市東弁財1-5-18 カロータ2F	耳鼻咽喉科, アレルギー科																																	
名称	医療法人社団宏友会 栗原整形外科	R4.7.1								○	○																								
開設者	医療法人社団宏友会	2025年予定								○	○																								
所在地	朝霞市幸町1-1-5	整形外科, 外科, リウマチ科, 皮膚科, リハビリテーション科																																	
名称	志木呼吸器科クリニック	R4.7.1																																	
開設者	医療法人社団博翔会	2025年予定																																	
所在地	志木市本町5-18-13 神山ビル1階	内科, 呼吸器科																																	
名称	牧田産婦人科医院	R4.7.1										○																							
開設者		2025年予定										○																							
所在地	新座市あたご3-3-17	産婦人科																																	
名称	大塚産婦人科小児科医院	R4.7.1										○	○																						
開設者	医療法人慶桜会	2025年予定										○	○																						
所在地	新座市片山1-16-3	産婦人科, 小児科																																	
名称	栗原医院	R4.7.1																																	
開設者	医療法人実幸会	2025年予定																																	
所在地	富士見市羽沢1-33-28	内科, 消化器科, 胃腸科, 外科, 脳神経外科, 心臓血管外科, リハビリテーション科, 救急科																																	
名称	医療法人根本外科整形外科	R4.7.1																																	
開設者	医療法人根本外科整形外科	2025年予定																																	
所在地	富士見市鶴馬3477-1	整形外科領域の外科的手術 整形外科, 消化器科, 外科, 胃腸科, 内科, 小児科, こう門科, リハビリテーション科																																	
名称	にしじまクリニック	R4.7.1										○																							
開設者	医療法人翔光会	2025年予定										○																							
所在地	富士見市勝瀬1034-1	産婦人科																																	
名称	ますなが医院	R4.7.1																																	
開設者	医療法人社団かいしん会	2025年予定																																	
所在地	富士見市勝瀬739-1	内科, 循環器科, 小児科, アレルギー科, 呼吸器科																																	
名称	みずほ台産婦人科	R4.7.1																																	
開設者		2025年予定																																	
所在地	富士見市東みずほ台3-6-6	婦人科, 産婦人科																																	
名称	ミュージレディスクリニック	R4.7.1																																	
開設者	医療法人青山会	2025年予定																																	
所在地	ふじみ野市霞ヶ丘1-2-3 ココネ上福岡一番館A202	産婦人科, 高度生殖医療																																	

【南西部医療圏】有床診療所

医療機関		②構想区域において担うべき医療機関としての役割											③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)														
		(2)貴医療機関が担う医療											(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)					(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)									
名称		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症 その他	備考	家庭からの入院	他の病院、診療所からの転院	介護施設・福祉施設からの入院	介護医療院からの入院	院内の出生	その他	家庭へ退院	他の病院、診療所へ転院	介護老人保健施設に入所	介護老人福祉施設に入所	介護医療院に入所	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	終了(死亡退院等)	その他
名称	せきや眼科	R4.7.1																									
開設者	医療法人久治会	2025年予定												644	0	0	0	0	0		644	0	0	0	0	0	0
所在地	ふじみ野市旭1-18-25	眼科																									
医療圏 有床診療所 合計		◆診療科目は、埼玉県医療機能提供システムの記載内容を転記。																									

**【南西部医療圏】有床診療所**

【参考】各医療機関が有する課題として回答があったもの(複数回答可)	
回答医療機関数:7	回答数
医師確保	3
看護師確保	4
その他医療職(リハビリ職、薬剤師等)確保	2
病床稼働率の低下	1
退院・転院先の確保	
看護必要度に係る要件(入院基本料)の維持	
建物の老朽化改修	1
建物の耐震化改修	
建物の災害対策(自家発電・受水槽等)	3
その他	1

<その他>

基本的には医師は、院長1人で対応しており、年齢的にいつまで分娩を取り扱えるか。

# 独立行政法人国立病院機構埼玉病院

## 公的医療機関等 2025 プラン（2022 年版）

### ○基本情報

#### 【独立行政法人国立病院機構埼玉病院の基本情報】

医療機関名：独立行政法人国立病院機構埼玉病院

開設主体：独立行政法人国立病院機構

所在地：埼玉県和光市諏訪 2 番 1 号

許可病床数：550 床

（病床の種別） 一般550床

（病床機能別） 高度急性期70床、急性期480床

稼働病床数：547 床

（病床の種別） 一般547床

（病床機能別） 高度急性期67床、急性期480床

診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科、腫瘍内科、血液・膠原病内科、腎臓内科

職員数：1,150人（2023年1月1日現在）

- ・ 医師 191人
- ・ 研修医 20人
- ・ 看護職員 603人
- ・ 薬剤師 36人
- ・ 診療放射線技師 32人
- ・ 臨床検査技師 25人
- ・ 管理栄養士 11人
- ・ 理学療法士 18人
- ・ 作業療法士 9人

▪ 言語聴覚士	6人
▪ 視能訓練士	3人
▪ 臨床工学技士	14人
▪ 心理療法士	2人
▪ 歯科衛生士	2人
▪ 福祉職	9人
▪ 診療情報管理士	10人
▪ 事務職	122人
▪ 技能職	37人

## 1. 現状と課題

### ①当該病院（自施設）の現状

#### ▪ 国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は 国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに 患者の目線に立って懇切丁寧に 医療を提供し 質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

#### ▪ 埼玉病院の理念

この地の人々の健康といのち、そして安心の場所を守る

#### ▪ 埼玉病院の基本方針

1. 継続的な医療の質の向上
2. それを支える経営の質の向上
3. 患者さん家族主義
4. 職員家族主義
5. 地域家族主義
6. 地域に密着した急性期・高度専門医療の提供
7. チーム医療を主体的に実践できる医療人の育成



- ・ 診療実績 届出入院基本料：急性期一般入院料 1（7 対 1）  
平均在院日数：12.9 日 病床稼働率：85.2% 手術件数：6,748 件（2021 年度実績）
- ・ 地域内での役割・機能
  - ・ 地域医療連携  
埼玉県南西部医療圏唯一の地域医療支援病院として、地域の医療機関・患者が受診しやすい体制の整備に努めている。地域医療連携システムとして、各種の画像診断、生理機能検査や栄養相談、および各診療科の専門医による外来診療をインターネットで 24 時間いつでも予約できるカルナシステムを構築・活用しており、2021 年度は延べ 4,000 件を超える医療機器の共同利用実績を有している。
  - ・ 救急医療  
2021 年 3 月に埼玉県から救命救急センターの指定を受け、同年 5 月より救命 ICU（救命救急入院料 2）8 床、救命 HCU（救命救急入院料 1）16 床、あわせて 24 床の救命救急センターとして運用を行っている。3 次救急医療を含めた 24 時間の救急医療体制を整備し、2021 年度は年間 5,200 件超の救急搬送患者を受け入れており、区域内の救急医療の最後の砦として、断らない救急を目指している。
  - ・ 災害医療  
地域災害拠点病院として指定を受け、災害医療支援のため、24 時間対応可能な体制を確保している。また、BCP（事業継続計画）を定め、災害時に可及的速やかに診療を再開できるよう体制を整備している。
  - ・ 循環器疾患  
循環器病センターを設置し、CCU を開設、24 時間 365 日循環器科医師が常駐し、救急患者を受け入れ、また、麻酔科のオンコール体制を整備し、緊急の心臓血管外科手術を常に実施可能とし、構想区域内の循環器疾患の中心施設となっている。
  - ・ 脳血管疾患  
脳卒中センター、脳神経・認知症センターを設置し、平日夜間の当直時間帯は脳外科医師を配置し、脳血管疾患に対して質の高い医療を提供している。
  - ・ がん疾患  
消化器系がん、肝・胆・膵がん、肺がん、乳がん、子宮・卵巣がん、前立腺・腎臓がん、脳腫瘍、皮膚腫瘍等について、手術、放射線治療、化学療法、緩和治療など地域がん診療連携拠点病院として質の高いがん医療を提供している。
  - ・ 小児疾患/周産期医療  
新生児の診察、予防接種、急性疾患の外来、入院での治療から慢性疾患の管理まで、地域の子どもたちが健やかに成長できるよう幅の広い診療を行っている。小児二次救急医療では埼玉県・朝霞地区四市、慶應義塾大学との間で寄附講座による協定を締結。小児科医師の確保を行い、365 日患者を受け入れる体制として、地域の小児救急の最後の砦となっている。

また、NICU を開設し、院内だけでなく地域の病院で生まれた 28 週前後の早産児、体重 1000g 前後の低体重児を受け入れている。

周産期については 2015 年 10 月より地域周産期母子医療センターの認定を受け、MFICU を整備し、ハイリスク分娩、未熟児の治療を行っている。(2021 年度：分娩件数 702 件、母体搬送受入件数 153 件)

- ・エイズ

エイズ治療拠点病院として、県から選定され、医療を提供している。

- ・国際規格 ISO 認証取得

国際規格 ISO の 9001 マネジメントシステム(質マネジメント)、また、臨床検査室の国際規格 ISO15189 の認証を取得しており、臨床検査の質と能力について、国際規格に適合していることの第三者評価を受けている。

## ②当該病院（自施設）の課題

- ・第 6 次埼玉県地域保健医療計画に基づく 200 床増床計画が 2021 年 5 月の救命救急センター運用開始により終了し、急性期及び高度急性期機能を中心とする 550 床の医療機関として安定的な運用を目指している。
- ・救急医療については、3 次救急はもとより 2 次救急においても、断らずに患者の受け入れを行う体制を整える。
- ・地域包括ケアシステムの構築にあたり、急性期から回復期、更には地域への円滑な移行を行うことが急性期病院としての責務であるため、後方医療機関、訪問看護ステーション、地域のケアマネージャー等の地域の医療・介護機関とのつながりの強化が急務である。

## 2. 医療機能ごとの病床数

時点	病床数	医療機能別					区分別	
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	一般	療養
2022 年 7 月 1 日 時点	550 床	67 床	480 床	0 床	0 床	3 床	550 床	0 床
2025 年 7 月 1 日 時点	550 床	66 床	484 床	0 床	0 床	0 床	550 床	0 床

※令和 4 年度病床機能報告の数値を入力

### 3. 今後の方針

#### ①地域医療構想を踏まえた当該病院（自施設）の地域において今後担うべき機能・役割

##### ・がん疾患

地域がん診療連携拠点病院として、がん患者を積極的に受け入れ、手術・化学療法・放射線治療など集学的ながん診療を行っていく。手術支援ロボットの導入など、専門性の高い治療を推進する。

##### ・循環器疾患

救急対応拡大と充実に伴い、脳血管疾患、循環器疾患の患者の急増が見込まれる中、特に脳卒中、急性心筋梗塞に対する専門医療の提供体制を強化していく。

##### ・小児（救急）医療

24 時間体制での 2 次救急に加え、朝霞地区医師会と連携した時間外の一時救急を行っており、今後も地域の小児救急の中核的機能を堅持する。

##### ・周産期医療

地域周産期母子医療センターの認定を受け、MFICU3 床、NICU12 床を整備して周辺機関からの緊急症例を受け入れており、引き続き円滑な受け入れ体制を整える。

##### ・救急医療

区域内で初の救命救急センターとして、救急患者の受け入れ体制の整備を行うことにより、地域内での救急医療の維持及び持続可能で効率的な救急医療体制を構築し、年間 5,000 件超の救急搬送を受け入れる。

##### ・緩和ケア医療

がん診療連携拠点病院として 20 床の緩和ケア病棟を整備しており、がん患者の増加が今後も見込まれる中、がん等の緩和ケアを推進する。

#### ②①を踏まえた今後の方針

（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）

- ・現在担っている地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院、循環器病基幹医療施設、地域周産期母子医療センター、救命救急センター等の役割を継続し、今後も高度急性期、急性期の病床機能を維持する。

#### ③その他の数値目標について

- ・①②に関連する当該病院（自施設）で設定している数値目標

##### 医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率： 90% 参考：(2021 年度) 85.2%
- ・ 手術室稼働率： 65% 参考：(2021 年度) 57%
- ・ 手術件数： 7,200 件 参考：(2021 年度) 6,748 件
- ・ 紹介率： 80% 参考：(2021 年度) 74.8%
- ・ 逆紹介率： 100% 参考：(2021 年度) 109.0%

#### 4. 新興感染症への取組

##### 自由記載

新型コロナウイルス感染症に対する当院の取り組みでは、2020（令和2）年2月始めに中国武漢市からチャーター便で帰国し、保健医療科学院や税務大学校で隔離された体調不良者を受け入れるなど、2020年当初より積極的に患者を受け入れており、これまで、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として最大72床、新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関として最大10床を確保し、2021年度までに1,117名の入院患者を受け入れているほか、朝霞地区医師会と連携しPCRセンターを開設、発熱外来及び地域のPCRセンターとしての役割も担っている。

また、埼玉県の要請に基づきクラスターが発生した老人介護施設等へ出向き感染対策のアドバイスを行うコロナ対策チーム（COVMAT）へのスタッフ派遣を実施するなど、地域における新型コロナウイルス感染症対応にも積極的に取り組んでいる。

#### 5. その他

##### 自由記載

埼玉病院は「この地の人々の健康といのち、そして安心のこころを守る」の理念のもと、新館の建設計画を進め、2018年10月新館竣工、その後の本館の改修を経て2021年4月550床のフルオープンに至った。2022年5月には地域初の救命救急センターを開設した。今後はロボット支援手術の導入、救急応需体制の更なる強化により、地域の中核病院として“地域に根ざした病院づくり”を行っていきたい。

## 地域医療構想調整会議における対応方針の検証の進め方

### 1. 対応方針の策定

#### ① 公立病院

「公立病院経営強化プラン」の策定 ⇒ 令和4年4月1日発出埼玉県企画財政部市町村課長通知にて策定依頼  
公立病院経営強化ガイドライン（総務省）により作成

#### ② 公的病院

「公的医療機関等2025プラン（2022年版）」の策定 ⇒ 令和5年1月6日発出埼玉県保健医療部長通知にて策定依頼  
策定済みの公的医療機関等2025プランを見直す形で作成

#### ③ それ以外の医療機関（有床診療所を含む）

「地域医療構想に係る2025年における医療機関対応方針」の策定 ⇒ 令和5年1月6日発出埼玉県保健医療部長通知にて  
調査票に記入する形で作成 策定依頼

##### 【主な記入項目(案)】

- ◆ 医療機能ごとの病床数
- ◆ 役割、機能（医療機能の分化・連携の観点から、どのような医療機能を提供していくのか）
- ◆ 今後担う医療（5疾病、5事業及び在宅医療等のうち、どの医療を提供していくのか）
- ◆ 自院の対処すべき課題

※ 令和3年度病床機能報告で非稼働病棟がある医療機関には、併せて非稼働病棟に関する調査票にも回答していただく。  
⇒ 令和5年1月6日発出埼玉県保健医療部長通知にて調査依頼

## 2. 地域医療構想調整会議での協議（検証）

○ 地域内の各医療機関の役割、機能、課題、他医療機関との連携状況等の現状と今後の方針を「共有する」ことを主眼とする。

### 【地域医療構想調整会議への出席・説明】

#### ◆ 公立病院・公的病院

地域医療構想調整会議へ出席し、策定したプランの説明、質疑応答を行う。

#### ◆ それ以外の医療機関

作成された対応方針（調査票）を一覧表にして資料配布。

説明を求める必要がある医療機関及び出席を希望する医療機関に地域医療構想調整会議へ出席してもらう。

○ 意見交換しながら、役割分担の確認、更なる連携の可能性などの調整を行い、必要に応じて対応方針の見直しを求める。

### 【検証に当たってのポイント】

#### ◆ 今後の方針が現状と変更がない場合

地域が求めるものと整合しているか、さらに担うべきものがあるかを確認

#### ◆ 今後の方針が現状からの大幅な変更を予定している場合

（新たな病床機能を担おうとする場合や、病棟単位で大幅な増減がある場合等）

その機能が地域で過剰感がないか、変更することに支障がないかを確認

#### ◆ 公立病院、公的病院、その他地域の中核病院の場合

新型コロナウイルス感染症対応など地域にとって必要な役割を担っているかを確認

#### ◆ 2025年に非稼働病棟を有する見込みである場合

非稼働理由はやむを得ないものか、稼働に向けた取組は実現性が高いものであるかを確認

#### ◆ 再検証対象とされた公立公的医療機関の場合

医療実績が少ない又は近隣に類似の医療を提供する医療機関があるとされた医療機能の今後の方針は妥当なものかを確認

### 3. 対応方針の合意・見直し

- 各医療機関の将来の対応方針に異論がない場合（意見は出たが、対応方針の見直しの必要がない場合を含む）は、対応方針は合意されたものとする。
- 異論が出た場合は、見直しを求められた対応方針について、次の地域医療構想調整会議で継続して協議を行っていく。
  - ◆ 対応方針の見直しを求められた医療機関は、見直しの可否について医療機関内で検討し、次の地域医療構想調整会議で改めて見直し結果を報告してもらう。
  - ◆ 所管保健所は、必要に応じて、次回会議までの間に当該医療機関が地域の他の医療機関や郡市医師会等と話し合う場の仲介をする。
- 地域医療構想調整会議に出席していない医療機関には、対応方針一覧と会議の議事録を送付し、自圏域の他の医療機関の現状と今後の方針を共有できるようにする。
- 令和5年度末までに全医療機関の対応方針について、地域医療構想調整会議での合意を目指す。
  - ◆ 合意済みの対応方針について、その後、変更する必要が生じた医療機関については、変更後の対応方針について直近の地域医療構想調整会議で報告のうえ再検証する。

# 地域医療構想調整会議における協議スケジュール

対応方針		①「公立病院」	②「公的病院」	③「①②以外の医療機関」
		公立病院経営強化プラン	公的医療機関等2025プラン (2022年版)	2025年における 医療機関対応方針
令和4年度	1月	作成依頼（県→医療機関）		
	2月	<b>【地域医療構想調整会議】 公立病院経営強化プラン案の概要説明、意見交換 非稼働病棟を有する医療機関の報告</b>		
	3月			
令和5年度	<b>第1回【地域医療構想調整会議】 プラン・対応方針の説明、検証</b> <span style="float: right;"> <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px 5px;">合意</span> </span>			
	見直し・協議継続			
	<b>第2回・第3回【地域医療構想調整会議】 プラン・対応方針の再説明、再検証</b>			
<b>令和5年度末までに調整会議での合意を目指す</b>				





保健医療部 医療整備課  
 総務・医療企画担当 小峰・寺崎  
 直通 048-830-3535  
 内線 3603  
 E-mail: a3530-07@pref.saitama.lg.jp

## <報道発表資料>

.....  
 カテゴリー:募集

令和 5年 6月 1日

### 病院整備計画の公募について

地域の実情に応じた質が高く効率的な医療提供体制を目指すため、地域保健医療計画（第7次）の変更に基づき、昨年度に引き続いて、埼玉県地域医療構想において不足が推計されている医療機能など医療課題に対応する病院の整備計画を募集します。

#### 1 公募対象の医療圏と病床数

公募の対象となる医療圏は既存病床数が基準病床数を下回る「南部」、「県央」、「川越比企」の3保健医療圏です。

また、公募の対象となる病床数は次のとおりです。

二次保健医療圏	公募対象病床数
南部	61
県央	30
川越比企	207
合計	298

#### 2 募集する医療機能

公募対象とする病床機能は以下のとおりです。（有床診療所を含む。）

- (1) 埼玉県地域医療構想において不足が推計されている医療機能を担う病床  
 (回復期機能（地域包括ケア及び回復期リハビリテーション）等)
- (2) その他、埼玉県地域保健医療計画の実現に向けて必要な病床  
 (がん・脳卒中・心血管疾患に対応する高度専門医療、救急、周産期、在宅医療等)

### **3 応募条件**

募集する病院整備計画の条件は以下のとおりです。

- (1) 2025年度（令和7年度）までに着工すること。
- (2) 新型コロナウイルス感染症を含む新興感染症の発生・まん延時の患者の入院等の役割を担うこと。

### **4 県による病院整備計画の採択決定について**

- (1) 地域医療構想調整会議（医療法第30条の14第1項に規定する協議の場合）  
における協議（応募医療機関の出席と説明、協議）
- (2) 地域医療構想調整会議の委員による審査  
（評価項目）
  - ①計画の妥当性：病床の稼働状況（病床利用率）、患者の受入れの見込みなど
  - ②計画の実現性：医療従事者の確保計画や整備スケジュールなど
- (3) 上記（2）を参考にして作成した採択案を埼玉県医療審議会へ諮問

### **5 スケジュール**

時期	事項
令和5年6月1日（木）	病院整備計画公募の告知
令和5年7月（予定）	地域医療構想調整会議（部会含む）
令和5年9月1日（金）～10月31日（火）	病院整備計画の受付
令和5年11月（予定）	地域医療構想調整会議（部会含む） （応募医療機関の出席と説明、協議）
令和6年2月（予定）	採用する病院整備計画の決定

## **6 病院整備計画の申出に係る手続**

(1) 病院整備を計画する地域における地域医療構想調整会議の議論の状況を確認してください。

地域医療構想調整会議の開催状況 URL :

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/chiikiiryokousou/r4kousou.html>

(2) 提出書類「病院の整備計画申出書」や提出方法「電子申請・届出サービス」については埼玉県のホームページをご覧ください。

URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/koubo/koubo05.html>

## 埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について(令和5年3月末時点)

## 【6次】

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設(予定)年月
1 東部	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院	越谷市	6次	200	救急、神経難病等			令和8年3月
	東部 計			200				
2 さいたま	(仮)順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター	緑区	6次	800	高度専門医療			令和9年11月
	さいたま 計			800				
計				1,000				

## 【7次】

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設予定年月	
3 南部	かわぐちレディースクリニック	川口市	7次	12	周産期	○	○	令和2年4月	
	(仮)川口きゅうぼろリハビリテーション病院	川口市	7次	180	回復期リハ・地域包括ケア等	○		令和5年8月	
	(仮)ふれあい生協病院	川口市	7次	25	地域包括ケア	○		令和5年8月	
	安東病院	川口市	7次	7	地域包括ケア	○	○	令和4年8月	
	かわぐち心臓呼吸器病院	川口市	7次	20	心血管疾患			令和6年3月	
	公平病院	戸田市	7次②	28	地域包括ケア・緩和ケア			令和8年2月	
	第2はとがや病院	川口市	7次②	40	療養			令和6年4月	
	はとがや病院	川口市	7次②	20	地域包括ケア			令和6年1月	
	川口さくら病院	川口市	7次②	50	救急医療・地域包括ケア・回復期リハ			令和5年10月	
	(仮)川口北部リハビリテーション病院	川口市	7次②	40	回復期リハ			令和8年3月	
	ふれあい生協病院	川口市	7次②	1	地域包括ケア			令和5年8月	
	埼玉協同病院	川口市	7次②	4	救急医療			令和5年8月	
	南部 計				427			19	
	15 南西部	堀ノ内病院	新座市	7次	10	地域包括ケア	○	○	令和元年5月
さくら記念病院		富士見市	7次	32	地域包括ケア	○	○	令和2年5月	
和光リハビリテーション病院		和光市	7次	36	回復期リハ	○	○	令和4年4月	
三芳野病院		三芳町	7次	12	地域包括ケア	○	○	令和元年12月	
ふじみの救急病院		三芳町	7次	19	救急(脳卒中)	○	○	令和2年12月	
朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科		朝霞市	7次	3	救急(耳鼻科)	○	○	令和2年2月	
TMGあさか医療センター		朝霞市	7次②	8	がん医療・小児医療			令和5年10月	
塩味病院		朝霞市	7次②	23	回復期リハ			令和7年2月	
富家病院		ふじみ野市	7次②	20	地域包括ケア			令和7年4月	
ふじみの救急病院		三芳町	7次②	1	救急医療			令和5年4月	
埼玉セントラル病院	三芳町	7次②	13	回復期リハ・療養			令和5年6月		
南西部 計				177			112		
26 東部	武里病院	春日部市	7次	46	在宅療養後方支援	○	○	令和2年6月	
	リハビリテーション天草病院	越谷市	7次	4	回復期リハ	○	○	平成31年3月	
	永井マザーズホスピタル	三郷市	7次	5	周産期	○	○	令和元年7月	
	しらみず産婦人科クリニック	越谷市	7次	14	周産期			調整中	
	三愛会総合病院	三郷市	7次	96	救急・地域包括ケア	○	○	令和4年11月	
	慶和病院	越谷市	7次	40	地域包括ケア			調整中	
	(仮)埼友越谷病院	越谷市	7次	31	地域包括ケア	—	—	計画中止	
	みさと健和病院	三郷市	7次	20	地域包括ケア			令和7年11月	
	鳳永病院	草加市	7次	10	回復期リハ			令和8年3月	
	春日部さくら病院	春日部市	7次②	15	療養			令和5年9月	
	春日部厚生病院	春日部市	7次②	59	地域包括ケア・回復期リハ			令和8年3月	
	埼友草加病院	草加市	7次②	10	地域包括ケア			令和6年4月	
	(仮)AOI吉川病院	吉川市	7次②	224	救急医療・地域包括ケア・回復期リハ・療養			令和8年3月	
	北辰病院	越谷市	7次②	15	緩和ケア			令和8年1月	
	新越谷病院	越谷市	7次②	121	地域包括ケア・回復期リハ・療養			令和7年3月	
	(仮)タムス越谷病院	越谷市	7次②	172	地域包括ケア・回復期リハ			令和8年3月	
	埼玉東部循環器病院	越谷市	7次②	12	心血管疾患			令和6年12月	
(仮)越谷北部病院 → (仮)越谷けやき病院	越谷市	7次②	135	療養			令和7年8月		
十全病院	越谷市	7次②	56	回復期リハ			令和6年2月		
東部 計				1085			151		

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設予定年月
45 46 47 48 49 県央	伊奈病院	伊奈町	7次	30	地域包括ケア	○		令和5年8月
	埼玉脳神経外科病院	鴻巣市	7次	19	救急・回復期リハ	○	○	令和3年6月
	埼玉脳神経外科病院	鴻巣市	7次②	8	救急医療・回復期リハ			令和5年7月～8月
	こうのす共生病院	鴻巣市	7次②	6	地域包括ケア			令和5年9月
	鈴木眼科	北本市	7次②	3	有床診療所			令和5年5月
県央 計				66			19	
50 51 52 53 54 55 56 川越 比企	丸木記念福祉メディカルセンター	毛呂山町	7次	50	地域包括ケア	○	○	令和元年10月
	笠幡病院	川越市	7次	15	緩和ケア	—	—	計画中止
	愛和病院	川越市	7次	6	周産期	○	○	令和2年2月
	三井病院	川越市	7次	50	地域包括ケア	○	○	令和4年10月
	東松山市立市民病院	東松山市	7次	36	救急医療			令和5年7月
	埼玉成恵会病院	東松山市	7次②	28	地域包括ケア			令和7年4月
	菅野病院	坂戸市	7次②	25	地域包括ケア・療養			令和8年3月
川越比企 計				210			106	
57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 西部	埼玉医科大学国際医療センター	日高市	7次	56	がん医療	○	○	令和4年6月
	武蔵台病院	日高市	7次	6	回復期リハ	○	○	令和元年8月
	並木病院	所沢市	7次	3	地域包括ケア	○	○	令和元年6月
	圏央所沢病院	所沢市	7次	45	地域包括ケア	○	○	令和4年5月
	北所沢病院	所沢市	7次	35	地域包括ケア	○	○	令和4年10月
	所沢リハビリテーション病院	所沢市	7次	30	回復期リハ	○	○	令和4年4月
	豊岡整形外科病院	入間市	7次	12	地域包括ケア	○	○	令和2年4月
	さやま地域ケアクリニック	狭山市	7次	19	在宅療養支援	○	○	令和3年8月
	(仮)所沢美原総合病院	所沢市	7次②	60	脳卒中・心血管疾患・がん医療・救急医療			令和5年12月
	(仮)敬寿会所沢病院	所沢市	7次②	128	救急医療・地域包括ケア・回復期リハ			令和6年8月
	明生リハビリテーション病院	所沢市	7次②	9	回復期リハ			令和5年11月
	新所沢清和病院	所沢市	7次②	20	療養			令和7年4月
	圏央所沢病院	所沢市	7次②	28	回復期リハ			令和6年10月
	埼玉石心会病院	狭山市	7次②	20	救急医療			令和7年6月
	豊岡整形外科病院	入間市	7次②	6	地域包括ケア			令和5年7月
旭ヶ丘病院	日高市	7次②	57	地域包括ケア・回復期リハ			令和8年3月	
西部 計				534			206	
73 74 75 76 利根	新久喜総合病院	久喜市	7次	91	高度専門医療	○	○	令和3年4月
	羽生総合病院	羽生市	7次	80	回復期リハ、地域包括ケア	○		令和6年4月
	パーク病院	白岡市	7次	20	在宅療養支援	○	○	令和3年4月
	東埼玉総合病院	幸手市	7次	16	地域包括ケア	○	○	令和3年12月
利根 計				207			127	
計				2,706			740	

6次	1,000	開設済み	0	0床
		未開設	2	1,000床
7次	1,241	開設済み	27	740床
		未開設	10	455床
		計画中止	2	46床
7次②	1,465	開設済み	0	0床
		未開設	35	1465床
		計画中止	0	0床

※6次:令和5年3月末時点で未開設の第6次地域保健医療計画に基づく公募による整備(予定)病床

※7次:第7次地域保健医療計画に基づく公募による整備(予定)病床

※7次②:第7次地域保健医療計画の変更に基づく公募による整備(予定)病床

## 埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

## 1 整備計画概要

医療機関名	ふじみの救急病院
所在地	入間郡三芳町北永井 9 9 7 - 5
整備（増床）病床数	1 床
（医療機能別内訳）	急性期

## 2 開設年月：令和 5 年 4 月

## 3 病床整備による地域医療課題への対応目標

- 救急受診患者の入院加療
- 在宅療養患者の入院加療
- 感染症パンデミック時の入院加療

## 4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
令和 5 年 4 月	TMG 宗岡中央病院	強化型在宅療養支援病院（連携型）

## 5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

- 増床以前よりイムス三芳総合病院、イムス富士見総合病院、上福岡総合病院、新座志木中央総合病院、TMG あさか医療センター等と連携協定締結済み。
- 令和 5 年 9 月末まで ICU1 床、HCU2 床の重症コロナ空床確保予定。
- 隣地のプレハブ病床 19 床は休床中。発熱外来は年度内を目途に継続予定。

## 埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

### 1 整備計画概要

医療機関名	埼玉セントラル病院
所在地	埼玉県入間郡三芳町上富 2177 番地
整備（増床）病床数	13 床
（医療機能別内訳）	回復期：1 床、慢性期：12 床

### 2 開設年月：令和5年6月

### 3 病床整備による地域医療課題への対応目標

- 回復期病床は1床増床し、現在の許可病床数は49床。目標稼働率95.5%（1日あたり患者数：46.7人）に対して、7月18日現在の稼働率は81.6%（40人）。直近6ヶ月の在宅復帰率は90%超であり、本来の目的である在宅復帰は進んでいる。現在は、該当患者の積極的な受入れ（新規入院）に取り組んでいる。
- 慢性期病床は12床増床し、現在の許可病床数は166床。目標稼働率93%（1日あたり患者数：157.4人）に対して、7月18日現在の稼働率は84.9%（141人）。昨年末以降の看護要員のマンパワー不足に加えて、4月に内科医師1名の離職があり、入院受入の低調が続いているが、期初よりマンパワー不足の解消に向けて、医師のリクルート強化（紹介会社への営業）、看護要員の派遣・応援スタッフの利用拡大に取り組んでおり、8月より内科医師1名の入職が内定、看護要員数も徐々に回復途上にある。

### 4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
随時	イムス富士見 イムス三芳	同グループであり、日常的に病院間連携を構築できている。また、定期的に病院幹部・SW・地域連携室スタッフ間でエリア会議を実施している。
随時	各病院	地域連携室スタッフを中心に、各病院への直接訪問・電話・FAX等により情報収集、空床状況の発信を行っている。

### 5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

- 回復期・慢性期（療養）病棟に加えて、精神科病棟（主に認知症対応）・特殊疾患病棟を有し、透析入院も積極的に対応している。

別紙様式 2

## 病院の整備計画変更申請書

令和5年7月10日

(宛先)

埼玉県保健医療部長

住所 埼玉県朝霞市溝沼2-4-1

氏名 医療法人山柳会 塩味病院

理事長 塩味 正雄

令和5年2月21日付で承認のあった病院の整備計画について、下記のとおり変更を申請します。

## 記

## 変更前の事業計画

承認病床数

整備計画病床 23 床

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	回復期リハビリテーション3	23
計				23

## 変更後の事業計画

承認病床数

整備計画病床 23 床

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般	回復期リハビリテーション2	17
回復期機能	回復期	一般	地域包括ケア入院医療管理料1	6
計				23



## 地域医療構想調整会議用資料

- 1 病院名：医療法人山柳会 塩味病院
- 2 所在地：埼玉県朝霞市溝沼 2-4-1
- 3 医療機関の概要

病床数（令和4年度病院整備計画承認病床：回復期リハビリテーション23床）

病床機能区分	病床種別	許可病床数	承認病床数	予定病床数
急性期	一般	44床	0床	44床
回復期	一般	33床	23床	56床
計		77床	23床	100床

### 4 塩味病院の現状

- ◇ 医療法人山柳会 塩味病院は、地域住民の方々に身近で安心安全な医療を提供することを目的に1987年に開院、以来、一般病棟と回復期リハビリテーション病棟の2病棟体制の元、救急告示病院として地域の救急医療の一端を担ってきております。
- ◇ また、1992年の医療法人化以降、介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、特別養護老人ホーム（別法人）、地域包括支援センター受託等、医療・介護・福祉の強固な連携体制を構築して、地域包括ケアシステムを支える役割を果たして参りました。
- ◇ 一方、開院から35年近くが経過してきたことで、建物や設備の老朽化が進んできたことを受け、これまでの医療分野での地域貢献を更に持続的かつ強固なものにする為には、病院の新築移転が必要であると判断し、令和7年3月頃の開院を目指して現在準備を進めております。

## 5 病院整備計画の変更を申請するに至った背景

- ◇ 昨年度、新病院への移転を検討する中、南西部医療圏での不足病床数の状況等を踏まえた結果、朝霞市内唯一の回復期リハビリテーション病棟を持つ病院として、引き続き地域貢献を果たしていく為には、回復期病床の増床の必要性があると認識した為、令和4年度病床整備計画において回復期リハビリテーション病床の増床を申請し、23床の増床を承認頂きました。
- ◇ この程、昨年度承認を頂いている病院整備計画について、一部変更を申請することに至った事由につきまして、下記に3点、説明をさせていただきます。
  - 急性期を脱した患者の受入について
    - ✓ 当院の回復期リハビリテーション病床においては、TMG朝霞医療センターや埼玉病院等の高度急性期病院や急性期病院で急性期治療を終えた脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者を対象に、ADL向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供してきており、これまで、回復期リハビリテーション病棟を持つ病院としての機能を果たしてきております。
    - ✓ 一方、急性期症状は脱したが、引き続き経過観察が必要な患者や、内科的治療を継続する必要がある患者等（回復期病床の対象疾患以外）は、一般病床に入院して治療を継続する対応をとるか、病状によっては、やむなく、入院をお断りするケースもあります。
    - ✓ 当該連携病院からの直近6カ月の入院相談114件①の内、回復期病床への入院相談が62件②あり、内、回復期病床に入院したのは37件③です。逆に、一般病床への入院相談が52件④あり、内、一般病床に入院した患者数が32件⑤、更には、入院することが出来なかった患者数が45件⑥発生しています。

相談件数	R5.1月	R5.2月	R5.3月	R5.4月	R5.5月	R5.6月	合計
連携病院からの入院相談件数 ①	26	14	21	20	17	16	114
①の内、回復期入院相談件数 ②	16	9	11	12	8	6	62
②の内、回復期入院件数 ③	6	4	9	8	7	3	37
①の内、一般入院相談件数 ④	10	5	10	8	9	10	52
④の内、一般病床に入院した件数 ⑤	4	1	8	7	7	5	32
入院が出来なかった件数 (①-③-⑤) ⑥	16	9	4	5	3	8	45

- ✓ 上記の通り、一般病床への入院患者32件や入院が出来なかった患者45件の中には、地域包括ケア病床があれば受け入れることが出来ていた患者が少なくとも半年間で30名はいると考えられ（下記に事例）、コロナ禍を通じて、その必要性を強く感じています
  - ✚ 在宅復帰希望の終末期の癌患者で、リハビリテーションの介入を含め入院して病状経過を診てもらいたいとの希望を持つ患者
  - ✚ 痰の吸引や褥瘡の治療等、継続的な医療ケアを必要としている患者（リハビリ目的では無いケースも含む）
  - ✚ 認知症によりリハビリテーションの指示は入らないが、家族のレスパイトを目的とした患者 等
- ✓  $30名 \div 6カ月 = 月5名$  待機患者数は年間60名と想定されます。
- ✓ 治療からリハビリテーションまで対応できる地域包括ケア病床の導入は、当院が提供できる機能の選択肢を増やすこととなる為、紹介元病院との連携が更に円滑化することに繋がり、在宅復帰への強い意向を持っている患者ニーズにも十分対応できるものと考えます。

➤ レスパイト入院ニーズ等の高まりについて

- ✓ 朝霞市内の介護申請件数は年々増加しており、令和4年度には5千人を超え、令和22年（2040年）には7千人を超えと考えられています。

朝霞市内介護申請者数(人)	令和3年度	令和4年度	増減
要介護	3,604	3,690	86
要支援	1,222	1,296	74
総合事業	111	120	9
合計	4,937	5,106	169

- ✓ このような状況下、当法人所属の居宅介護支援事業所のケアマネジ

ヤー（4名）からの報告では、1名のケアマネジャーが担当する約40人の利用者の内、10%程度（4～5人）の利用者（当法人居宅全体で20人程度）は高頻度でショートステイを活用していますが、ショートステイでは医療的なケアが受けられない為、利用を躊躇う家族も多く、地域包括ケア病床がない朝霞市内では、在宅療養中の高齢者を抱える家族のニーズ（レスパイト入院）に応えきれていない状況があるとのことでした。

- ✓ また、コロナ禍を通じて、感染を恐れて外出や人との接触を極端に避ける傾向が強まり、更に、介護サービスの提供を一定期間停止せざるを得なかった介護施設側の事情等もあり、結果として、心身機能の低下・フレイルの進行により要介護状態となっている高齢者のケースも増えており、このような傾向は今後も更に強まっていくものと強い懸念を抱いています。
- ✓ 現状（令和5年6月現在）、当法人のケアマネジャーが担当する利用者157名の内、医療的ケアが必要なレスパイト入院を希望している利用者は11名、症状増悪に伴う入院希望者が常時4名はいることを確認していますが、朝霞市内に地域包括ケア病床がないことで、その対応に苦慮しています。
- ✓ また市内には、現在、当法人以外に居宅介護支援事業所が28か所、ケアマネジャーが75名いますが、他の居宅介護支援事業所からも「塩味病院ではレスパイト入院ができないのか」との問い合わせや「自宅で症状増悪した高齢者を受け入れてほしい」との要望が昨今多数寄せられるようになってきており、この1年間で朝霞市内において地域包括ケア病床に対する潜在的なニーズが非常に高くなってきていると感じています。
- ✓ 市内のケアマネジャー75名について、1名につき2人のレスパイト入院希望者や症状増悪患者を担当していると想定すると $75 \times 2 = 150$ 人、当法人の入院希望者15人と合わせると約165人の待機患者数となります。
- ✓ 当法人の居宅介護支援事業所ケアマネジャーからは「末期、終末期の方を在宅介護されている家族は24時間休む間もありません。心身的に疲弊し体調を崩す方もおられます。同法人グループの訪問看護、訪問介護、病院スタッフ等でサポートしておりますが限界もありま

す。塩味病院に対する在宅診療のニーズも高まってきていることも合わせると、今こそ、地域包括ケア病床の必要性を強く感じております。」との意見も寄せられております。

➤ 入院患者の病状に応じた転棟について

- ✓ 一般病棟と回復期病棟の2病棟体制の元では、一般病棟での治療後の措置として、在宅復帰に向けたリハビリテーションが必要な患者については、回復期病棟への転棟を進めていますが、一方で、複合疾患等を抱えている患者については、引き続き治療を継続する必要がある為、一般病棟に在院のまま治療とリハビリテーションを継続しています。
- ✓ このような患者については、地域包括ケア病床への自院内転棟ができれば、治療の継続と並行して一定期間のリハビリテーションを受けることができ、更には、より余裕を持った退院調整が可能となるため、患者自身の安心感・満足感も相応に高まるものと考えられます。
- ✓ コロナ第7波・第8波が襲来した際、コロナ感染患者を中心に上記のような状況が多数発生したことにより、地域包括ケア病床の必要性を痛感した次第です（一般病棟でリハビリテーション介入を受けている患者数は現状、平均24名/月となっており、月間3名の転棟可能患者とすると、待機患者数は年間約35人となります）。

◇ 地域包括ケア病床は、院内の転棟転床だけでなく、介護施設や自宅等で療養している在宅患者のニーズにフレキシブルに対応できる病床であることから、朝霞市内に地域包括ケア病床を導入することの意義は大きく、地域医療への貢献度は非常に高いものになると考えております。

◇ コロナ禍を経たこの1年間に、病院を取り巻く周辺環境が大きく変わってきたことを認識するに至りましたので、新病院開院迄のタイミングに合わせて、地域包括ケア病床の導入を図るべきと決断し、今回の変更申請を提出させて頂くこととなりました。

## 6 病床数の考え方

1. 地域包括ケア病床の入院待機患者数	患者数	260
① 高度急性期病院・急性期病院からの転院患者数		
→ 月間5人×12か月 = 年間60名		60
② レスパイト入院や症状増悪による在宅からの入院患者数		
→ 法人居宅利用者15人 + ケアマネ75名×2人 = 165名		165
③ 自院一般病棟からの転棟患者数		
→ リハ介入患者数24人の内、3人が転棟可能 (×12)		35
2. 平均在院日数 (地域包括ケア病床)	在院日数	30
3. 必要となる地域包括ケア病床数	申請病床	20
$260 \text{名} \times 30 \text{日} \div 365 \text{日} = 21.3 \text{床}$		

## 7 病床機能転換スケジュール

◇ 地域包括ケア病床が求められる機能をしっかりと発揮できるよう、段階的な導入により運営の定着化を図る計画です。

### 1 現状 (令和 5年 6月30日時点)

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数	増減	備考
急性期	一般	一般	地域一般入院料 3	44		
回復期	回復期	一般	回復期リハビリテーション 3	33		
計				77		

◇ 現病院体制において、一般病床 44 床の内 9 床を地域包括ケア病床に切り替え、地域包括ケア病床を交えた新たな地域連携体制をスタートします。

2 病床機能転換 ～ 令和5年12月頃

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数	増減	備考
急性期	一般	一般	地域一般入院料3	35	△9	一般病床9床を包括病床へ転換
回復期	回復期	一般	回復期リハビリテーション3	33	0	
	回復期	一般	地域包括ケア入院医療管理料1	9	9	
計				77	0	

- ◇ 新病院の開院に合わせて、包括病床を20床まで拡大、病床数100床の病院として地域連携体制の更なる強化に繋げて参ります。

3 病床機能転換 ～ 令和7年3月頃（新病院開院時）

病床機能区分	医療機能	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数	増減	備考
急性期	一般	一般	地域一般入院料2	30	△5	一般病床5床を包括へ転換
回復期	回復期	一般	回復期リハビリテーション2	50	17	増床承認済の回復期23床の内、6床を包括へ転換
	回復期	一般	地域包括ケア入院医療管理料1	20	11	一般病床5床 + 回復期病床6床
計				100	23	

## 8 地域包括ケア病床の役割

◇ 新たに担う役割

- 地域包括ケア病床の導入により、現状当院で対応しきれていない下記の患者層の受入が可能となり、病院としての受入機能や在宅復帰機能が拡充されることにより、従来以上にスムーズな地域との連携が可能となります。
  - ✓ 他の急性期病院で急性期治療が終了、症状が安定・軽快し在宅復帰に向けた患者の受入
  - ✓ 在宅療養中の患者や介護施設入所中で症状が不安定化もしくはリハビリが必要となった入所者の受入
  - ✓ 在宅療養中の患者を持つ家族（介護者）の休養のための受入（レスパイト入院）

◇ 将来の方向性

- 当法人は、朝霞で唯一、病院・介護老人保健施設・介護付き有料老人ホーム・訪問看護介護・訪問リハビリ・地域包括支援センター、シニアルーム等、地域包括ケアシステムを担うハードを有する医療法人であり、これま

でも各施設が有機的につながることで、地域住民の方々への医療・介護サービスの提供を継続して参りました。

- 現状の病院機能である一般病棟および回復期リハビリテーション病棟の2病棟体制では、上述の通り、入院判断が難しく、受け入れることが困難な事案が発生していましたが、地域包括ケア病床が稼働することにより、これまで地域連携が図れなかった入院相談案件にも対応することが可能となりますので、地域のケアマネジャーからの連携や高度急性期病院等からの転院の受け皿としての病院機能が増え、地域の更なる連携が取れるようになります。
- 今後、地域包括ケア病床を最終的に20床まで増やすことによって、より多くの地域住民の方々に「入院から自宅復帰までの途切れなく安心して受けることのできる」医療介護サービスの提供が可能となります。

## 9 転換後の見込み

届出予定基本診療料施設基準 地域包括ケア入院医療管理料 1	算定開始予定年月 令和5年12月～ 9床 令和7年3月～ 20床
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)	
【転換前】  実績なし	【転換後】 TMG 医療センター 年間 110 人 (35%) 国立埼玉病院から年間 60 人 (19%) 朝霞中央クリニック (在宅)・板橋中央総合病院から各年間 20 人 (6%づつ) 日本大学板橋病院・仏富士見病院・健康長寿医療センターから各年間 15 人 (5%づつ) * 合計年間 255 件の内、60 件を地域包括ケア病床の患者として受入見込
医療 (介護) 連携見込み (※具体的に記入してください。)	
【転換前】	【転換後】 ○紹介元：自宅 (居宅含む)、有料・特別養



実績なし	護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅・老健 ○紹介先：自宅（居宅含む）、有料・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 ＊年間 165 件の連携見込
------	---

※届出予定基本診療料施設基準は「地域包括ケア病棟入院料 1」「地域包括ケア入院医療管理料 1」等該当するものを記載。

※自院からの転棟患者数：35 件

## 10 医療従事者

職種区分	職員数内訳（2023年5月現在）				今次計画完成後（フル稼働時）			
	合計	常勤	非常勤 常勤換算		予定人員	常勤	非常勤 常勤換算	
医師	6.7 人	4.0 人	10.0 人	2.7 人	9.7 人	7.0 人	10.0 人	2.7 人
薬剤師	3.2	2.0	2.0	1.2	4.2	3.0	2.0	1.2
看護師	25.8	20.0	11.0	5.8	28.0	22.0	12.0	6.0
准看護師	6.6	6.0	1.0	0.6	6.0	5.0	2.0	1.0
看護補助者・介護職員	8.2	8.0	3.0	0.2	15.0	10.0	10.0	5.0
管理栄養士	2.0	2.0			3.0	3.0		
理学療法士	12.1	12.0	1.0	0.1	19.0	19.0		
作業療法士	5.5	5.0	1.0	0.5	13.0	13.0		
言語聴覚士	1.0		2.0	1.0	3.0	3.0		
診療放射線技師	2.6	2.0	8.0	0.6	3.0	3.0		
臨床検査技師	1.5	1.0	2.0	0.5	3.5	3.0	2.0	0.5
相談員	2.0	2.0			4.0	4.0		
医事課員	5.0	5.0			6.0	6.0		
事務員	3.0	2.0	2.0	1.0	4.0	2.0	4.0	2.0
健診職員	5.0	5.0			6.0	6.0		
合計	90.2 人	76.0 人	43.0 人	14.2 人	127.4 人	109.0 人	42.0 人	18.4 人

確保状況・確保策、確保スケジュール

(※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。)

【医師】

- ◇ 一般病床・回復期病床のそれぞれの拡充に合わせ、常勤職の整形外科医師、循環器内科医師、脳神経内科医師を採用する予定です。

【看護職】

- ◇ 既に設けている日勤常勤職や夜勤専従職の採用枠を拡大して、多様化している働き方に対応していく予定です。
- ◇ 法人ホームページに人材募集専用のサイトを新たに掲示して、紹介会社を介さずに応募して頂ける看護師・看護助手の採用も強化していきます。

【リハビリ職】

- ◇ 新卒採用者については、大学病院や専門学校の卒業者をターゲットにリクルート活動を実施しています。
- ◇ これまでも新卒採用のタイミングで複数名（5名前後）の採用実績があり、令和6年度および令和7年度でも相当数を確保できる可能性は高く、中途採用者の確保も含めて、新病院開院迄には人員の確保はできる見込みです。

## 11 病床整備計画の進捗状況

項目	計画	変更計画	完了年月日
開設（変更）許可（医療法）	令和7年2月	－	
使用許可	令和7年2月	－	
基本設計	令和5年4月	－	
実施設計	令和5年7月	－	
建築請負契約の締結	令和5年11月	－	
都市計画法上の手続（開発許可等）	令和5年7月	－	
農地法上の手続（農地転用等）	令和5年5月	－	
建築確認	令和5年7月	－	

着工	令和5年11月	-	
竣工	令和7年1月	-	
開設（増床）	令和7年2月	-	
医療従事者の確保	令和7年2月	-	

◇ 今回の計画変更に伴い、病院整備計画のスケジュールに変更は生じません。

以上

## 令和5年度病床機能転換促進事業費補助金 申請一覧

No.	法人名 (医療機関名)	所在地		転換前 病床	転換病床数		転換後 届出予定 基本診療料 施設基準	医療機能		事業 期間	事業 内容
		市町村	二次保健 医療圏		地域包括 ケア	回復期 リハ		転換前	転換後		
1	医療法人山柳会 (塩味病院)	朝霞市	南西	急性期 一般 入院料3	9	0	地域包括ケア 入院医療管理料1	急性期	回復期	R5	設備
合計					9	0					

## 令和5年度病床機能転換事業計画報告書

1 病院名：医療法人山柳会塩味病院

2 所在地：朝霞市 溝沼 2-4-1

3 病床機能転換概要

転換前病床機能区分	転換病床数（床）		整備事業内容	整備事業開始（着工）予定年月	整備事業完了（竣工）予定年月
	地域包括ケア	回復期リハ			
急性期	9	0	設備整備	2023年 10月	2023年 11月

※転換前病床機能区分は「急性期」「慢性期」等該当するものを記載。

※整備事業内容は「新築」「増改築」「改修」「設備整備」の該当するものを記載。

4 提供する医療の内容

<b>【転換前】</b>		
急性期機能	2階（地域一般病床3）	44床
回復期機能	3階（回復期病床3）の	33床
<b>【転換後】</b>		
急性期機能	2階（地域一般病床3）	35床
回復期機能	2階（地域包括ケア入院医療管理料1）	9床
回復期機能	3階（回復期病床3）の	33床

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

現在、①急性病床としての、地域一般44床 ②リハビリ目的の在宅復帰のための回復期リハビリ病床33床を展開していますが、急性期病棟からの転院先となる回復期ケアの機能を有しないため、急性期病院や施設等からの受け入れがスムーズに実施できていない現状です。

リハビリ機能を有する地域包括ケア病床を設置することで、自院からの転換だけでなく、地域の急性期病院、居宅ケアマネの係る在宅患者のニーズに対応が可能となり、朝霞市の地域医療に貢献します。

○新たに担う役割

地域包括ケア病床を展開することにより、自院以外の急性期病院及び介護施設等からの受入れ、自宅・自宅とみなされる施設からの入院を受けることができ、さらにADLが上がった状態での在宅復帰が可能となり、地域連携の一翼を担うことができます。

○将来の方向性

2025年3月時の新病院開設時に、当法人の特徴である朝霞で唯一、病院・介護老人保健施設・訪問リハビリ・有料老人ホーム・地域包括支援センター、シニアルーム等の地域包括ケアシステムを担えるハードを有しており、これまでも各施設が有機的につながることで、地域住民へのシームレスな医療・介護サービスを提供しています。

今後、地域包括ケア病床を20床に増やすことにより、さらに地域住民及び介護施設等の入所者や自宅・自宅とみなされる施設の住民が、入院から自宅復帰まで途切れなく安心してサービスを楽しむ体制を強固にすることができます。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

自院以外の急性期病棟の入院患者、介護施設等の入所者、自宅等の住民のレスパイトを含む地域の入院できない患者に現状対応できませんが、今後対応できます。

5 転換後の見込み

届出予定基本診療料施設基準 地域包括ケア入院医療管理料 1	算定開始予定年月 2023年 12月
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)	
<b>【転換前】</b> TMG 医療センター 年間 70 人 (59%) 国立埼玉病院から年間 19 人 (16%) 朝霞中央クリニック (在宅)・板橋中央総合病院から各年間 4 人 (3%づつ) 日本大学板橋病院・仏富士見病院・朝霞厚生病院から各年間 2 人 (2%づつ)	<b>【転換後】</b> TMG 医療センター 年間 110 人 (35%) 国立埼玉病院から年間 60 人 (19%) 朝霞中央クリニック (在宅)・板橋中央総合病院から各年間 20 人 (6%づつ) 朝霞中央クリニック (在宅)・日本大学板橋病院・仏富士見病院・健康長寿医療センターから各年間 15 人 (5%づつ)
医療 (介護) 連携見込み (※具体的に記入してください。)	
<b>【転換前】</b> ○紹介元：自宅 (居宅含む)、有料・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅・老健、病院 ○紹介先：自宅自宅 (居宅含む)、有料・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅	<b>【転換後】</b> 大きな変更なし ○紹介元：自宅 (居宅含む)、有料・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅・老健、病院 ○紹介先：自宅自宅 (居宅含む)、有料・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅

※届出予定基本診療料施設基準は「地域包括ケア病棟入院料 1」「地域包括ケア入院医療管理料 1」等該当するものを記載。

## 6 医療従事者

職種	転換前の人員（人）			転換後の予定人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	4	12	3.55	4	12	3.55
看護師	13	8	3.90	14	8	3.90
准看護師	5	1	0.60	5	1	0.60
看護補助者	10	2	1.00	12	2	1.00
理学療法士	12	2	0.53	13	3	1.00
作業療法士	5	2	0.60	5	2	0.60
言語聴覚士	0	3	1.50	1	3	1.50
放射線技師	2	8	0.60	2	8	0.60
臨床検査技師	1	2	0.50	1	2	0.50
薬剤師	2	1	0.40	2	1	0.40
事務	7	0	0	7	0	0
その他（相談員）	2	0	0	3	0	0
計	63	41	13.18	69	42	13.65

### 確保状況・確保策、確保スケジュール

（※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）

#### 【看護職】

地域包括ケア病棟の主任 1 名を採用します。

#### 【リハビリ職】

地域包括ケア病棟のセラピスト 1 名、非常勤 1 名を採用します。

#### 【その他】

地域包括ケア入院医療料のための相談員を 1 名採用します。

## 7 主な病院内施設・設備

転換前	転換後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病室 7 床室 1 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 6 床室 1 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 5 床室 3 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 4 床室 4 室 (地域一般入院料 3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病室 7 床室 1 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 6 床室 1 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 5 床室 2 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・病室 4 床室 3 室 (地域一般入院料 3)</li> <li>・<u>病室 5 床室 1 室 (地域包括ケア入院料 1)</u></li> <li>・<u>病室 4 床室 1 室 (地域包括ケア入院料 1)</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練室 3 室 110 m<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練室 3 室 110 m<sup>2</sup></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースステーション 1 室</li> <li>・診察・処置室 5 室</li> <li>・手術室 1 室</li> <li>・救急処置室 1 室</li> <li>・検査室 2 室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースステーション 1 室</li> <li>・診察・処置室 5 室</li> <li>・手術室 1 室</li> <li>・救急処置室 1 室</li> <li>・検査室 2 室</li> </ul>

(※増減が生じる施設・設備は、アンダーライン等でわかるよう記載してください。)

## 8 医療（介護）連携における課題、問題点

現在当院が算定している、入院施設基準の地域一般及び回復期リハビリ病棟では、入院に該当するかの判断が難しく、受け入れることが困難な事案が発生していました。

地域包括ケア病床を稼働することにより、地域連携が図れなかった入院相談案件に対応することが可能となり、地域のケアマネ及び高度急性期病院からの受け皿としての病院の機能が増え、地域のさらなる連携が取れるようになります。



## 病床機能転換 病床機能報告調書（現状と病床機能転換後）

施設名	医療法人山柳会塩味病院
-----	-------------

### 1 現状（令和 5年 6月28日時点）

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数	備考
高度急性期					
急性期	一般病棟	一般	地域一般入院料 3	44	
回復期	回復期病棟	一般	回復期リハビリテーション 3	33	
慢性期					
その他 (休棟等)					
計				77	

### 2 病床機能転換（整備事業実施）後

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数	備考
高度急性期					
急性期	一般病棟	一般	地域一般入院料 3	35	
回復期	一般病棟	一般	地域包括ケア入院医療管理料 1	9	
	回復期病棟	一般	回復期リハビリテーション 3	33	
慢性期					
その他 (休棟等)					
計				77	

### 3 救急告示病院告示・在宅療養（後方）支援病院届出状況

項目	有・無	無の場合取得予定等
救急告示病院の告示の有無	有	
在宅療養（後方）支援病院の届出の有無	無	2025年4月取得予定

### 4 特記事項

--